

成田市立図書館サービス計画 2021~2030

中間評価（素案）

成田市立図書館
2026（令和8）年3月

目次

第1章	成田市立図書館サービス計画の概要	1
1.	計画の位置付け	1
2.	計画の期間	1
3.	計画の概要	1
(1)	図書館の使命（ミッション）	1
(2)	図書館の基本方針（ビジョン）	1
(3)	計画の全体構成	1
第2章	成田市立図書館を取り巻く状況	2
1.	成田市の人口と図書館利用登録率の推移	2
第3章	中間評価の趣旨	4
1.	中間評価の目的	4
2.	評価方法	4
第4章	中間評価の結果とこれまでの取組	5
1.	指標	5
(1)	評価概要	5
(2)	各指標の結果	5
2.	図書館サービスの取組	6
(1)	評価概要	6
(2)	年度別評価別自己評価結果	6
(3)	サービスごとの評価結果（評価Aまたは評価Bのもの）	7
(4)	各取組の成果と課題	7
第5章	今後の方向性と後期事業計画について	23
1.	サービス計画全体の方向性と指標の見直しについて	23
2.	進行状況の管理	23

第1章 成田市立図書館サービス計画の概要

1. 計画の位置付け

成田市立図書館では、社会の変化に対応して計画的に図書館サービスの充実を図る必要が生じてきたことから、サービスの方向性を明確にし、運営方針を定め、目指すべき図書館の姿を実現するために成田市立図書館サービス計画（以下、「サービス計画」と言う。）を策定しました。対象範囲は、本市の図書館サービス全般とし、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（2001（平成13）年告示）に基づき、課題解決支援や市内他機関との連携といった視点を盛り込んでいます。

また、上位計画の成田市総合計画「NARITA みらいプラン」、成田市学校教育振興基本計画「輝くみらい NARITA 教育プラン」、「成田市生涯学習推進計画」をはじめ、各種関連計画との整合、連携を図った計画としております。

2. 計画の期間

本計画の期間は、2021（令和3）年度から2030（令和12）年度までの10年間としております。

3. 計画の概要

（1） 図書館の使命（ミッション）

—成田市立図書館は、次の3つの役割を担っていきます。—

- （1） 生涯にわたる学習の場として、市民の自立を支えます。
- （2） 市民が自分の居場所として集い、憩い、学べる場となります。
- （3） 成田の文化・歴史をまとめ、次の世代につないでいきます。

（2） 図書館の基本方針（ビジョン）

—成田市立図書館は、5つの方針をもとにサービスを実践していきます。—

- （1） 多様な資料を収集すると共に電子情報へのアクセス環境を整え、すべての市民の「知る」を支えます。
- （2） 乳幼児から高齢者まで生涯にわたる読書を支援します。
- （3） 図書館利用に障がいのある人の読書、情報収集を支援します。
- （4） 市民の多様な創造活動を支えます。
- （5） 地域の様々な機関と連携し、地域資料を収集、整理、保存します。

（3） 計画の全体構成

図書館の使命（ミッション）と基本方針（ビジョン）を実現するために、図書館サービスを次の8項目に分類し、必要に応じてさらに細分化したうえでそれぞれの今後の方針を定めています。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| （1） 図書館の基本的なサービス | （2） 利用者層ごとのサービス |
| （3） 市民の課題を解決するサービス | （4） 地域資料を活用するサービス |
| （5） 地方自治を支えるサービス | （6） 図書館サービスを支える電算システム |
| （7） 市民の活動を支える職員の育成 | （8） 施設・設備 |

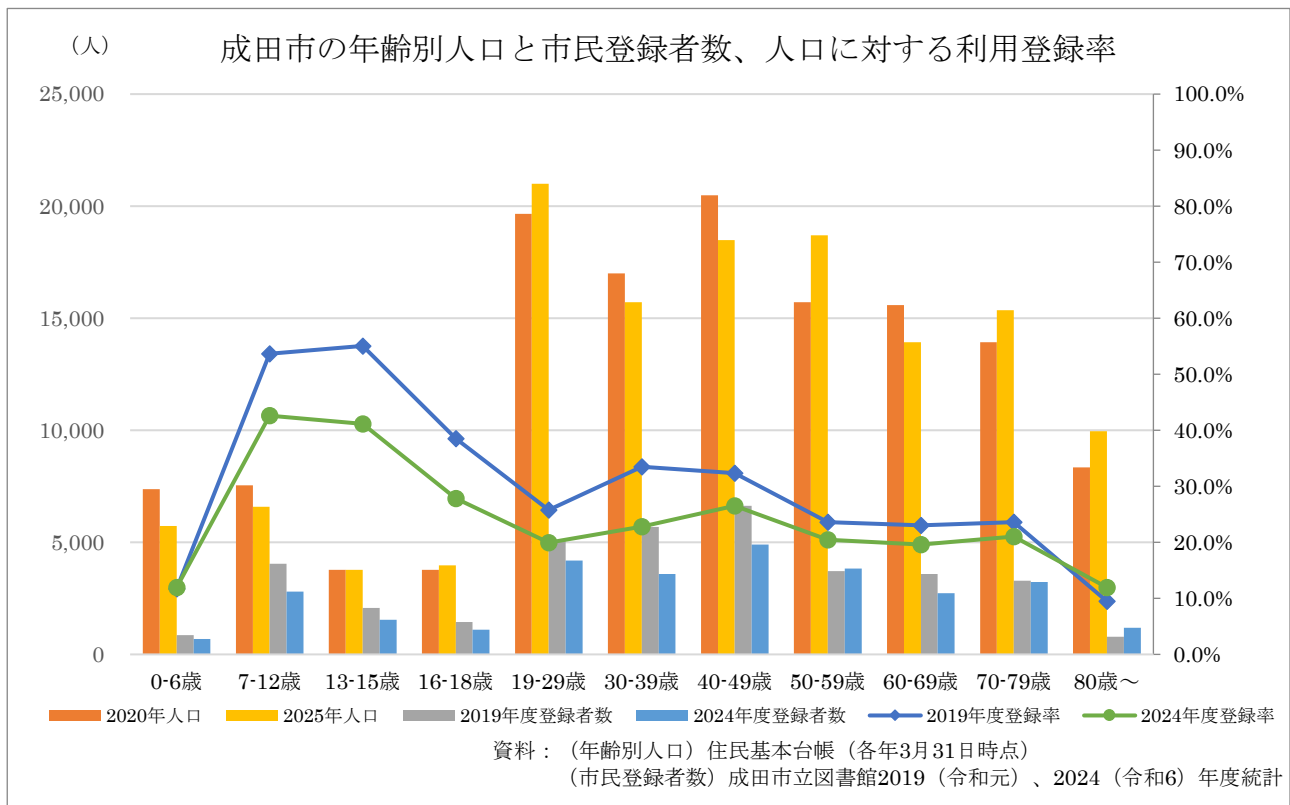
第2章 成田市立図書館を取り巻く状況

1. 成田市の人口と図書館利用登録率の推移

本市の人口は、全体としては緩やかな増加傾向にあります。年齢区別にみると、年少人口が減少傾向にある一方、高齢者人口は増加傾向です。また、外国人住民人口は、コロナ禍により一時減少しましたが、ここ数年の増加が著しく、2021（令和3）年3月末と2025（令和7）年3月末時点を比較するとおよそ1.76倍になっています。

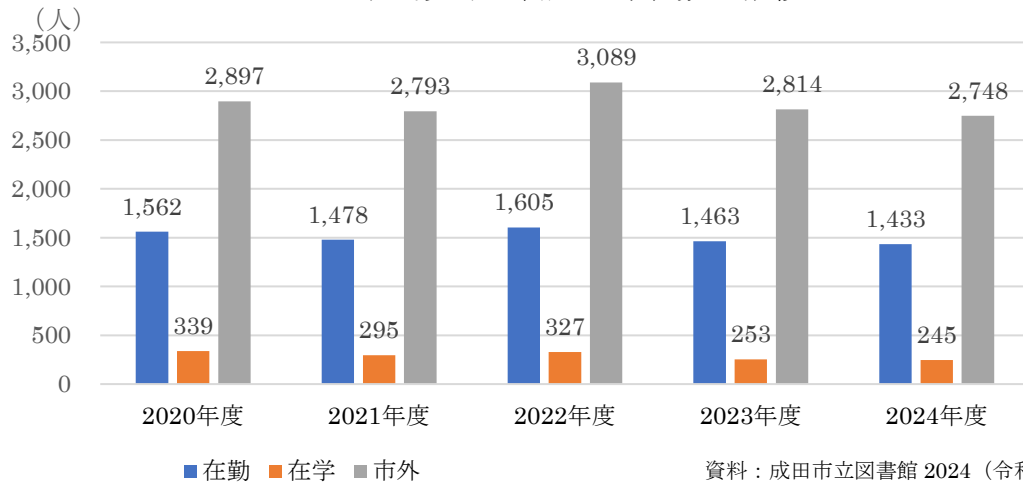
年齢別人口と成田市立図書館の市民登録者数及び人口に対する利用登録率を見ると、0歳から6歳の利用登録率は維持、80歳以上は増加、それ以外の区分で減少しています。特に青少年の減少幅が大きく、市民以外の在学登録者数も減少傾向にあり、青少年の図書館離れが進んでいることが伺えます。

また、外国人住民人口の増加に対して、図書館を利用している外国人の利用登録率は減少しています。国籍別外国人住民人口を見ると、アジア系住民が多数を占めていますが、図書館の言語別利用登録者数は英語・中国語・韓国語の登録者が多くなっています。このことから、市の住民構成に応じた図書館サービスの提供や利用促進が必要と考えられます。



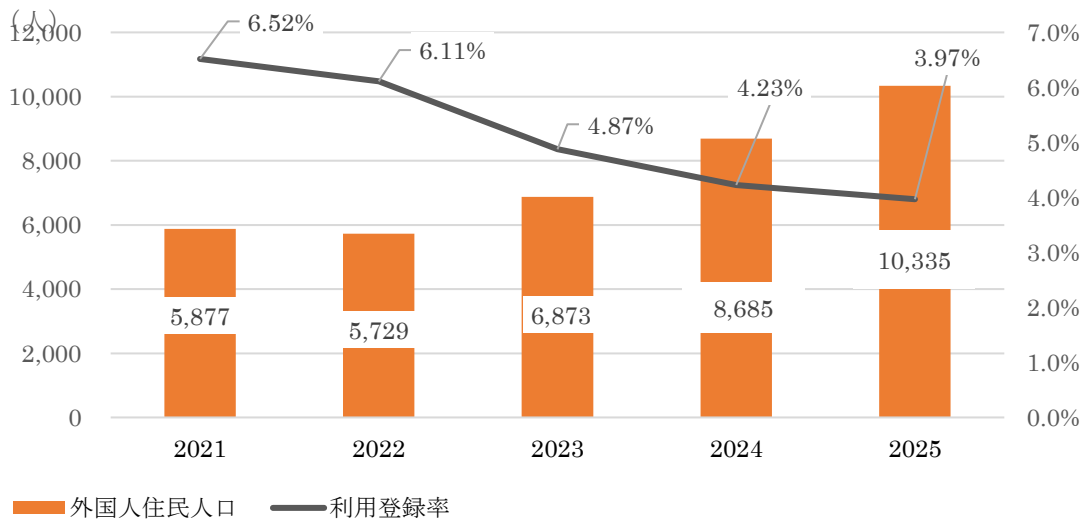
	0-6歳	7-12歳	13-15歳	16-18歳	19-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～	合計
2020年人口(人)	7,372	7,539	3,767	3,768	19,657	16,997	20,486	15,718	15,582	13,928	8,347	133,161
2025年人口(人)	5,731	6,588	3,766	3,966	20,998	15,709	18,489	18,699	13,931	15,357	9,964	133,198
2019年度登録者数(人)	885	4,045	2,074	1,452	5,063	5,694	6,626	3,713	3,588	3,284	792	37,196
2024年度登録者数(人)	686	2,807	1,549	1,105	4,191	3,582	4,904	3,831	2,734	3,230	1,191	29,810
2019年度利用登録率	11.7%	53.7%	55.1%	38.5%	25.8%	33.5%	32.3%	23.6%	23.0%	23.6%	9.5%	27.9%
2024年度利用登録率	12.0%	42.6%	41.1%	27.9%	20.0%	22.8%	26.5%	20.5%	19.6%	21.0%	12.0%	22.4%

市民以外の利用登録者数の推移



登録者数(人)	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
在勤	1,562	1,478	1,605	1,463	1,433
在学	339	295	327	253	245
市外	2,897	2,793	3,089	2,814	2,748
合計	4,798	4,566	5,021	4,530	4,426

外国人住民人口と利用登録率



資料：（外国人住民人口）住民基本台帳（外国人）（各年3月31日時点）
（利用登録者数）成田市立図書館2024（令和6）年度統計

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
登録者数	383	350	335	367	410
外国人住民人口	5,877	5,729	6,873	8,685	10,335
利用登録率	6.52%	6.11%	4.87%	4.23%	3.97%

第3章 中間評価の趣旨

1. 中間評価の目的

計画の中間地点での各取組の進捗や目標の達成状況を把握し、これまでの成果と課題の整理を行うことにより、計画年度後半に取り組むべき内容や方向性を定め、図書館サービスの一層の充実を図るために実施するものです。

本サービス計画では、次の3つを評価指標として定め、目標値を設定しています。

また、図書館サービスを8項目に分類し、それぞれについて計画期間に実施する事業の方向性を定めています。

指標	目的	2030年度目標値 (最終評価)
指標1 市民の図書館利用登録率	市民への図書館サービスの浸透を評価する	30.8%
指標2 年間レファレンス処理件数（本館、公津の杜分館、成田公民館図書室の合計）	課題解決支援を評価する	23,000件
指標3 公開書架冊数に占める新規購入冊数の割合（本館、公津の杜分館の合計）	蔵書の鮮度を評価する	13.5%

2. 評価方法

指標について、目標値と実績値を比較して、達成度をAからCの3段階で評価しました。また、8項目の図書館サービスに関しては、毎年度の自己評価結果をAからEの5段階で示したうえで、中間評価の総評として前期4年間の進捗状況に応じAからCの3段階で評価しました。

指標	A：目標値を超えているもの
	B：目標値の80%を超えているもの
	C：目標値を大きく下回るもの

図書館サービス	年度ごとの自己評価	A：達成基準を満たし、かつ十分な成果があるもの
		B：達成基準を満たしているもの
		C：達成基準を満たしていない、あるいは満たしているが課題があるもの
		D：未実施のもの
		E：年度当初に設定した目標から方向を転換したもの
	中間評価	A：前期を通して、新規事業を実施した、または、図書館サービスとして明らかな成果が認められるもの
		B：事業を継続して実施した、または、サービスの実施には至らないものの実施に向け進展していると認められるもの
		C：取組に未着手である、または事例研究・課題確認のみにとどまる等、計画策定時から大きな変化が認められないもの

第4章 中間評価の結果とこれまでの取組

サービス計画に基づき事業を行った 2021（令和 3）年度から 2024（令和 6）年度までの各年度実績は、以下のとおりです。

1. 指標

（1）評価概要

本サービス計画策定時は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、緊急事態宣言を受けての臨時休館や利用時間の制限、おはなしかいや講座等の開催の制限を行ったため、策定前の実績値よりもマイナスからのスタートとなりました。そのため、指標 2 に関しては評価 B としたものの、実績値は全て目標を下回る結果となりました。これらは、成田市立図書館を取り巻く状況や後半の取組を踏まえ改善していく必要があります。なお、中間評価時の指標は 2025 年度としておりますが、年度途中の実績となることから、2024 年度までの実績値により評価を行っております。

（2）各指標の結果

指標 1 市民の図書館利用登録率

2019 年度 実績(参考)	2020 年度 実績(参考)	2021 年度 実績値	2022 年度 実績値	2023 年度 実績値	2024 年度 実績値	2025 年度 目標値
27.9%	23.6%	22.3%	24.3%	22.6%	22.4%	29.5%

【評価：C】 利用登録率は、コロナ禍で大きく落ち込んだのち、その影響からは回復したものの、コロナ禍前の水準までは戻らず、以前と同様の減少傾向となっています。「千葉県の図書館」によると、県内図書館の登録率も減少傾向にあります。社会的な読書離れに加え、コロナ禍後の新しい生活様式に対応して、従来目指していた滞在型図書館に加え、非来館型サービスや手続きのオンライン化など、サービスの多様化がより一層求められているのではないかと考察されます。

指標 2 年間レファレンス処理件数

2019 年度 実績(参考)	2020 年度 実績(参考)	2021 年度 実績値	2022 年度 実績値	2023 年度 実績値	2024 年度 実績値	2025 年度 目標値
22,398 件	19,838 件	21,193 件	21,977 件	19,258 件	18,560 件	22,500 件

【評価：B】 目標値よりやや下回っているものの、2024（令和 6）年度に関しては、受付方法別件数によると、本館と公津の杜の窓口受付は減少していますが、それ以外の件数は昨年度とほぼ同数か増加しています。また、1 日当たりの窓口処理件数は前年とほぼ同数であることから、本館システム更新時の 22 日間の休館による窓口受付の減少が大きな要因と推察されます。

指標 3 公開書架冊数に占める新規購入冊数の割合

2019 年度 実績(参考)	2020 年度 実績(参考)	2021 年度 実績値	2022 年度 実績値	2023 年度 実績値	2024 年度 実績値	2025 年度 目標値
12.6%	11.7%	11.7%	10.7%	9.7%	9.4%	13.0%

【評価：C】 新規購入冊数の減少と公開書架冊数の増加により、目標値を下回る結果となりました。資料購入費の削減や、出版点数・書籍単価の変動と言った外的要因も考えられますが、資料管理によるところも大きいと見られ、書架のメンテナンスに注力する等、改善へ向けた対策が必要です。

2. 図書館サービスの取組

(1) 評価概要

サービス計画初年度は、高度な目標の設定や、多数の目標を掲げて業務配分をしたことにより基準に達しなかった取組が多くありましたが、翌年度以降は、全体での調整を行うことにより目標達成数が増加しました。

前期においては、新規事業として、ブックスタート事業における絵本の配布や、「青春 HiROBA (アオハルひろば)」新設とそれに伴う高等学校等との連携が大きく進展しました。さらに、コロナ禍を経て電子書籍サービスの導入を行い、サービスの拡充を図りました。また、「がん情報・医療情報コーナー」「りんごの棚」の新設や、多言語の利用案内の作成、書架のサインの増設など、利用者層ごとのニーズに合わせた情報提供が行えるよう環境整備に取り組みました。

年度別自己評価で評価 C または D とした取組については、取り組み方が不十分であったもの以外に、施設設備の構造上の課題や、他機関と調整や協議が必要であるなどの課題があるものが見受けられました。今後、サービスの方向性の再検討も含め取り組む必要があります。

また、高齢者、障がい者サービスの取組の一部は、調査研究を行ったものの具体的な成果としては現れなかったため、後期の課題とします。

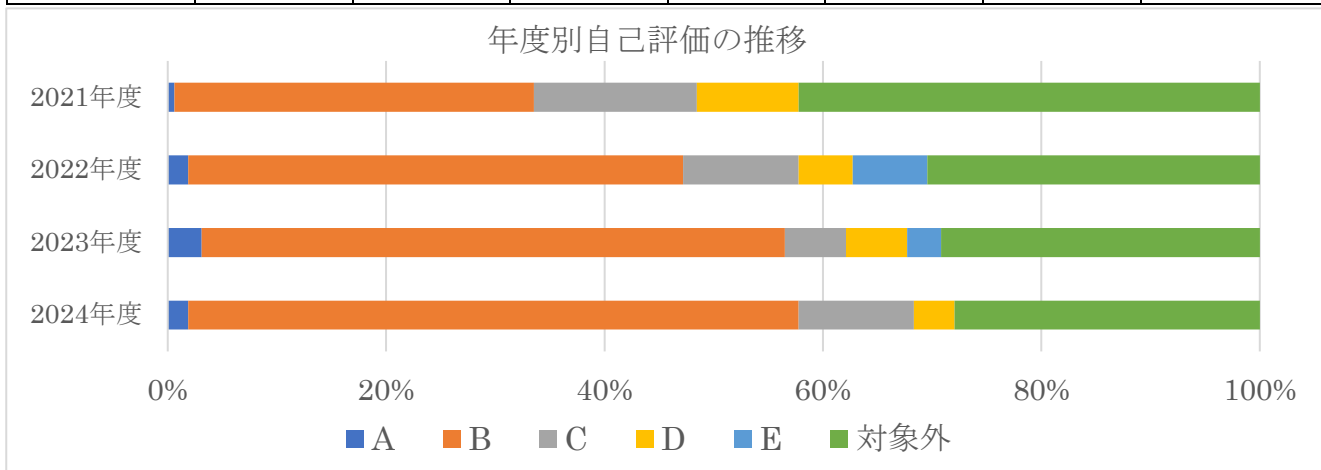
○年度別自己評価 A または新規事業等を実施した取組

項目	取組内容	実施年度	通番	ページ
一般	資料の展示	2023、2024	1-ア-④	p.8
乳幼児・保護者	ブックスタート事業にかかる絵本の配布開始	2022	2-(1)-ウ-①	p.9
乳幼児・保護者	おはなし室の修繕の実施	2024	2-(1)-ク	p.9
小・中学生	おはなしかいスペシャルの実施	2023	2-(2)-エ-①	p.10
小・中学生	イベント、講座の継続実施	2024	2-(2)-オ-①	p.10
小・中学生	りんごの棚の新設	2024	2-(2)-コ	p.10
青少年	青春 HiROBA の新設	2023、2024	2-(3)-ア	p.11
青少年	青春 HiROBA 内での学習スペースの整備	2023、2024	2-(3)-ウ	p.11
青少年	中高生向けイベントの実施	2023、2024	2-(3)-オ	p.11
青少年	高等学校等との連携	2024	2-(3)-カ	p.11
図書館利用に障がいのある人	心身障害者用ゆうメールサービスを開始	2024	2-(6)-オ	p.13
多文化	英語以外の利用案内の作成	2023、2024	2-(7)-エ-①②	p.14
健康・医療情報	がん情報・医療情報コーナーの新設	2024	3-(1)-イ-①②③	p.15
地域資料	成田市関係新聞記事のデータベース化	2023	4-(1)-イ-①	p.18
行政支援	新規職員研修において図書館活用法について講義を開始	2022	5-(1)-ア-①	p.19
議会図書室との連携	議員へのレファレンスサービスを開始	2021	5-(3)-ア-①	p.20
電算システム	電子書籍サービスの導入	2021	6-イ-①	p.21

(2) 年度別評価別自己評価結果

2021（令和3）年度から2024（令和6）年度までの、取組に対する自己評価結果は以下のとおりです。なお、取組内容によって、計画期間後半に実施する場合、講座等必ずしも毎年度実施に限らない場合、及び再掲並びに別記参照のものを「対象外」としています。

年度	A	B	C	D	E	対象外	取組数合計
2021年度	1	53	24	15	0	68	161
2022年度	3	73	17	8	11	49	161
2023年度	5	86	9	9	5	47	161
2024年度	3	90	17	6	0	45	161



(3) サービスごとの評価結果（評価Aまたは評価Bのもの）

項目	取組数	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
1.図書館の基本的なサービス	8	3	5	6	6	
2.利用者層ごとのサービス	85	19	32	53	48	
3.市民の課題を解決するサービス	24	13	17	12	13	
4.地域資料を活用するサービス	10	4	7	8	7	
5.地方自治を支えるサービス	16	5	7	4	5	
6.図書館サービスを支える電算システム	6	6	1	4	5	
7.市民の活動を支える職員の育成	4	2	4	2	3	
8.施設・設備	8	2	3	2	6	
合計	評価AまたはBとした取組数	161	54	76	91	93
	割合	100%	34%	47%	57%	58%

(4) 各取組の成果と課題

2021（令和3）年度から2024（令和6）年度までの各取組について、自己評価結果の一覧を基に前期の成果を振り返り、総評として評価A、評価B、評価Cの3段階で評価しました。また、課題を整理して後期重点目標を定めました。

進捗状況：達成済…「取組内容」に係る取組を実現できたもの
 進行中…取組の一部を実現したもの、実現に向け準備しているもの
 未実施…前期に具体的な取組みがないもの、後期に予定しているもの
 「-」…通常業務として継続的に取り組むもの

前期評価：↑…前期を通して、進展があったもの、1年度以上A評価を得たもの
 △…着手したものの課題がありC、D評価にとどまったもの
 無印…継続、B評価

後期重点：◇…後期に特に重点的に取り組むもの

1. 図書館の基本的なサービス

	実施・検討する事項	取組内容	関係機関等	進捗状況	前期評価	年度ごとの自己評価結果				後期重点	備考
						2021	2022	2023	2024		
ア①	蔵書の構築	幅広い情報を、多様なメディアで収集します。		-		B	D	C	B		2022年からは、継続実施の内容に電子書籍の収集を含める。
ア②		蔵書構成や書架の全体的な見直しを検討します。		-		-	B	B	D	◇	
ア③		視聴覚資料の積極的な収集に努めます。		-		-	B	B	B		
ア④		展示等により、資料紹介を行います。		-	↑	-	B	A	A		継続的な実施に加え、企画展示や出張展示など、関係機関と連携した取組を多く行った。
イ①	貸出・レファレンス等のサービス提供	貸出・閲覧サービスを継続して実施します。		-		B	B	B	B		
イ②		レファレンスサービスを継続して実施します。		-		-	-	B	B	◇	指標に係る数値の改善を目指して積極的に取り組む。
ウ	利用促進	広報活動等により利用促進を図ります。		-		B	B	B	B	◇	指標に係る数値の改善を目指して積極的に取り組む。
エ	データベース提供の拡充	公津の杜分館でのデータベースの提供を進めます。		未実施	△	-	-	-	C	◇	

総 評	B	<p>【自己評価と後期の方向性】</p> <p>計画的に継続事業を実施し、講座及び展示、利用促進において効果が見られた。資料の収集については、公開書架や書庫の全体的な見直しとともに、書架のメンテナンスや書庫の拡張を進めている。</p> <p>後期は、各グループの事業計画を踏まえ、指標にかかる数値の改善を目指し、具体的な取組を推進する。</p>
--------	---	--



本館特設展示「千葉県誕生150周年」



本館ミニ展示「電子書籍もあります」

2. 利用者層ごとのサービス- (1) 乳幼児・保護者-

	実施・検討する事項	取組内容	関係機関等	進捗状況	前期評価	年度ごとの自己評価結果				後期重点	備考
						2021	2022	2023	2024		
ア①	おはなしかい	今後も実施を継続します。		-		C	B	B	B		
ア②		回数、曜日、時間等について、必要に応じて検討します。		進行中		-	-	B	C		本館以外での赤ちゃん向けおはなし会の需要を図るため、「0・1歳のおはなしかい」を三里塚コミセンで実施した。(2024)
イ①	ブックリスト配布	今後も配布を継続します。	子育て支援課 健康増進課 保育課	-		B	B	B	B		
イ②		配布場所については追加を検討します。		未実施		-	-	-	-	◇	
イ③		内容については適宜見直し改訂を行います。		進行中	△	-	-	D	C		
ウ①	ブックスタート事業	絵本の配布を検討します。	子育て支援課 健康増進課	達成済	↑	D	A	B	-		絵本配布を開始した。(2022)
ウ②		赤ちゃん相談絵本読み聞かせ事業を継続し、運営主体や方法について、検討します。		-		C	B	B	B		「赤ちゃん相談絵本読み聞かせ事業」を「ブックスタート事業」に名称変更した。(2023)
エ	セカンドブック事業	実施に向けて検討します。	子育て支援課 健康増進課	進行中		C	C	C	B	◇	2026年度より開始予定。
オ	館内託児サービス	実施に向けて検討します。		進行中	△	C	B	-	D		
カ①	子育て支援コーナー等の設置	「出産」「育児」「家計」等、子育てに関わる資料の児童コーナー隣接を検討します。	子育て支援課 健康増進課	進行中		C	B	B	B		子育て支援の取組の一つとして、児童コーナーの一角に、子育て関連の資料を置く場所を設けた。(2023)
カ②		国や市の制度、相談窓口、関係各課のリーフレットやイベントの案内等を集約した情報提供の実施を検討します。		進行中		C	C	B	B		「はじめてであう本」コーナーにて、「なりた子育てガイドブック」や子育て支援施設の紹介リーフレット等の配布を開始した。(2023)
キ①	幼稚園、保育園等への団体貸出	申し出のあった市内幼稚園、保育園への団体貸出の実施を継続します。	保育課 生涯学習課 幼稚園、保育園	-		C	B	C	C		
キ②		今後は、申込書の送付等、図書館からの働きかけを検討し、園等での読書活動を支援します。		進行中	△	C	D	C	C	◇	
ク	乳幼児向け閲覧スペースの設置	転んだり、ぶつかったりしても怪我をしない床材や建具等の導入を検討します。		進行中	↑	-	-	-	A		おはなし室の修繕について、計画よりも前倒しして実施した。(2024)
ケ	施設・設備のバリアフリー化	ベビーカーで来館できる駐車場の整備等、施設のバリアフリー化を図ります。		進行中		-	-	B	B		
コ	授乳室等の設置	専用スペースの設置に向けて検討します。		進行中		-	-	B	B		



修繕後のおはなし室

総評

B

【自己評価と後期の方向性】
絵本の配布を伴うブックスタート事業を開始し、4か月児赤ちゃん相談において、絵本の読み聞かせへの参加率が41.3%から69.9%に大幅に上昇した。継続して実施している項目については、内容や実施方法の改善について引き続き検討し、各取組の強化を目指す。

2. 利用者層ごとのサービス- (2) 小学生・中学生-

	実施・検討する事項	取組内容	関係機関等	進捗状況	前期評価	年度ごとの自己評価結果				後期重点	備考
						2021	2022	2023	2024		
ア	ブックリスト配布	今後も全校への実施を継続します。	教育指導課	-		B	B	B	B		
イ	中学生向け書架整備	今後も実施を継続します。		-		B	B	B	B		
ウ	資料展示	今後も実施を継続します。 展示テーマの頻度については検討します。		-		B	B	B	B		
エ①	おはなしかい	今後も実施を継続します。		-	↑	B	B	A	B		「読書週間おはなしかいスペシャル」を計4回実施した。(2023)
エ②		子どもたちの参加意欲促進に努めます。		未実施		-	-	-	-	◇	
オ①	イベント、講座	今後も実施を継続します。		-	↑	B	B	B	A		開館40周年記念事業として「ぬいぐるみおとまり会」を実施した。(2024)
オ②		中学生向けの図書館講座について、調査研究を行い、実施を検討します。		進行中		-	B	B	B		
カ①	学校訪問おはなし会	今後もボランティアと協力し実施を継続します。	教育指導課 小中義務教育学校	-		B	B	B	B		
カ②		回数や実施方法について検討します。		進行中	△	C	C	D	-	◇	
キ	読み聞かせボランティアの養成	今後も実施を継続します。		-		B	B	B	C	◇	
ク	町探検の受入れ	今後も実施を継続します。		-		C	B	B	B		
ケ	職場体験の受入れ	今後も実施を継続します。		-		D	B	D	B		
コ	読書に困難を感じている子どもの支援	ニーズやサービス内容について、調査研究を行います。サービス方針及び資料収集方針を立案し、サービスを実施します。	障がい者福祉課 小中義務教育学校	進行中	↑	D	B	B	B		「りんごの棚」を設置した。(2024)
サ	学習スペースの整備	学習スペースの確保、運用を検討します。		未実施		-	-	-	-		
シ	子どもの居場所としての取組	関係各課と連携し、学校と家庭以外で子どもたちが安心して居られる場所として、図書館が利用できるように環境を整えます。	教育指導課 健康増進課	進行中	△	D	C	D	-	◇	
ス①	学校図書館の支援	今後も団体貸出を継続します。	教育指導課 小中義務教育学校	-		C	B	B	C		
ス②		団体貸出等図書館資料の配送体制の整備について、調査研究を行い、実施を検討します。		進行中		C	D	B	B	◇	
セ	学校図書館司書等合同研修会の開催	今後も実施を継続します。学校図書館司書の要望等を踏まえ、内容を検討します。	教育指導課	-		B	B	B	B		
			総評	【自己評価と後期の方向性】 町探検や職場体験を継続して受け入れるとともに、読書週間におはなし会を実施するなど、新規イベントを計画・実施した。後期は、未実施の項目や取組実績が不十分な項目を中心に、内容の充実と強化を目指す。							

2. 利用者層ごとのサービス- (3) 青少年-

実施・検討する事項	取組内容	関係機関等	進捗状況	前期評価	年度ごとの自己評価結果				後期重点	備考
					2021	2022	2023	2024		
ア ヤングアダルトコーナーの新設	ヤングアダルト向けの資料と独立したスペースの確保、コーナーの設置を行います。		達成済	↑	B	C	A	B		「青春HiROBA」を新設した。(2024)
イ ヤングアダルト向け資料の収集	ヤングアダルトサービスについて調査研究を行い、資料の選定収集を行います。		-		B	C	B	B		
ウ 学習スペースの整備	学習スペースの整備を検討します。		達成済	↑	-	-	B	B		「青春HiROBA」に学習スペースを整備した。(2024)
エ ブックリスト配布	ヤングアダルト向けのブックリストを作成し、市内学校等への配布、ホームページでの公開を行います。	教育指導課 中学校、義務教育学校、高校、大学、専門学校等	進行中		B	D	B	-	◇	
オ イベント、講座	イベント、講座の実施を検討します。		-	↑	C	B	A	B		中高生向けのイベントを実施した。(2023、2024) 後期は、「検討」を「継続」に読み替えて実施する。
カ 学校との連携	市内中学校、義務教育学校、高校、大学、専門学校等との連携について調査研究を行います。		進行中	↑	-	-	B	A	◇	学校視察やイベント参加により各学校の特色を調査し、関係者と情報交換を行った。学校と連携して、学校案内や部誌の配布、ポスターや学生作成POPの掲示、学生による出張展示を実施した。(2023、2024)
キ 活動の場の提供（メイカースペース）	事例の調査研究を行います。必要な設備品の整備を検討します。		未実施		-	-	-	-	◇	
ク メディアリテラシー向上の支援	事例の調査研究を行います。		達成済		B	B	B	-		調査は終了した。(2023) 後期は情報提供・学習支援を実施する。



青春HiROBAでの学習の様子



市内高校との連携「文豪総選挙」

総評

A

【自己評価と後期の方向性】

青春HiROBAの新設や、青少年向けのイベント・講座を実施し、サービスの対象である青少年の意見を反映させながら計画を進めることができた。また、学校や講師等の外部とのコネクションづくりを行い、項目全般の課題に対して効果的に取り組んだ。後期は、継続して取組を実施し、未実施の項目についても検討を進める。

2. 利用者層ごとのサービス- (4) 成人-

実施・検討する事項	取組内容	関係機関等	進捗状況	前期評価	年度ごとの自己評価結果				後期重点	備考
					2021	2022	2023	2024		
オ 活動の場の提供（メイカースペース）	事例の調査研究を行います。必要な設備品の整備を検討します。		未実施		-	-	-	-	◇	

※「1. 図書館の基本的なサービス」及び、「3. 市民の課題を解決するサービス」の再掲のため、項目アからエは省略。

総評

B

【後期の方向性】

1. 図書館の基本的なサービス、2. 利用者層ごとのサービス(3)青少年、3. 市民の課題を解決するサービス等の関連項目において検討する。

2. 利用者層ごとのサービス- (5) 高齢者-

	実施・検討する事項	取組内容	関係機関等	進捗状況	前期評価	年度ごとの自己評価結果				後期重点	備考
						2021	2022	2023	2024		
ア①	資料の収集、提供	大活字本、朗読CD等を継続して収集します。		-		C	C	B	B		
ア②		電子アプリ等を利用したオーディオブックの導入を検討します。		進行中		B	E	B	-		2025年度より、電子書籍サービスにおいてオーディオブックの購入を開始した。
イ①	高齢者施設等との連携	高齢者施設等へのニーズ調査を検討します。	高齢者福祉課、高齢者福祉施設	進行中	△	D	C	-	B	◇	
イ②		連携方法について調査研究を行います。		進行中		D	C	B	B		
ウ	来館困難者へのサービス提供	事例の調査研究を行います。		進行中		B	E	B	-	◇	
エ①	生涯大学院、明治大学・成田社会人大学等との連携	ニーズ調査を実施します。	生涯学習課	進行中		C	E	B	C	◇	
エ②		出張図書館等の連携事業を検討します。		進行中	△	-	E	-	C	◇	
オ①	高齢者の生きがいを支える情報提供、学習支援	事例の調査研究を行います。		達成済		-	B	B	B		事例調査は終了した。(2024)後期は、情報提供・学習支援を実施する。
オ②		講座の開催を検討します。		未実施		-	-	-	-		
カ	施設・設備のバリアフリー化	必要な設備を調査し、施設のバリアフリー化を図ります。		未実施		-	-	-	B		
キ	メディアリテラシー向上の支援	事例の調査研究を行います。		未実施		-	-	-	-		



認知症カフェへの関連資料の貸出

総評	C	<p>【自己評価と後期の方向性】</p> <p>大活字本や朗読CD等の継続的な収集に加え、電子書籍のオーディオブックの導入準備を進めた。調査研究はコロナ禍に実施したため、十分なニーズを把握することができなかった。</p> <p>後期は、障がい者サービスとの役割分担を意識し、高齢者サービスの充実に向けて取組内容を再検討し、実践していく。</p>
----	---	--

2. 利用者層ごとのサービス- (6) 図書館利用に障がいのある人-

	実施・検討する事項	取組内容	関係機関等	進捗状況	前期評価	年度ごとの自己評価結果				後期重点	備考
						2021	2022	2023	2024		
ア①	録音図書の製作	今後も録音図書の製作を継続します。		-		B	C	B	C		
ア②		所蔵するカセット資料のDAISY図書への変換作業を継続します。		-		B	B	B	B		
イ	マルチメディアDAISYの収集、提供	収集方針、収集・提供方法を検討します。		進行中		D	B	B	B	◇	マルチメディアDAISYの購入を開始した。(2024)
ウ	音訳協力者の養成	今後も音訳協力者養成講座を継続して実施します。		-		C	B	B	B	◇	
エ	資料の収集、提供	点字図書、さわる絵本、大活字本、オーディオブック、LLブック、布絵本等を収集、提供します。		-	△	D	C	C	B		「りんごの棚」を設置した。(2024)
オ	配送貸出サービス	今後も継続して実施します。		-	↑	C	B	B	B		「心身障害者用ゆうメール」サービスを開始した。(2024)
カ①	サインのバリアフリー化	事例やガイドライン等の調査研究を行います。		達成済		-	C	B	-		調査は終了した。(2023)
カ②		サイン計画を立て、館内サインを作成します。		進行中		-	-	-	B	◇	UDフォント化及びやさしい日本語に配慮して館内掲示の修正を行った。(2024)
キ	サービスの広報	今後も対象者への利用案内の送付等を継続します。	障がい者福祉課	-		B	B	B	B		
ク	対面朗読	事例の調査研究を行います。		未実施		-	-	-	-	◇	
ケ	施設・設備のバリアフリー化	必要な設備を調査し、施設のバリアフリー化を図ります。		達成済		-	C	B	-		調査は終了した。(2023) 後期は、調査結果をもとにバリアフリー化を図る。
コ①	合理的配慮の提供の推進	講座・イベント時の手話通訳等の配置を検討します。		未実施		-	-	-	-	◇	
コ②		館内のサイン・案内等の改善を図ります		進行中		-	D	B	B		
コ③		コミュニケーション手段を確保します。		進行中		-	-	B	-	◇	



音訳協力者による録音の様子



本館 りんごの棚

総評

B

【自己評価と後期の方向性】

心身障害者用ゆうメールのサービスの開始及びりんごの棚の設置等、新規事業を計画・実施した。録音図書の製作や録音カセット資料のDAISY化を継続した。後期は、障がい者サービス全般の課題を整理し、読書バリアフリー法等を考慮した事業全体の見直しを行う。

2. 利用者層ごとのサービス- (7) 多文化-

	実施・検討する事項	取組内容	関係機関等	進捗状況	前期評価	年度ごとの自己評価結果				後期重点	備考
						2021	2022	2023	2024		
ア①	多言語資料の収集	今後も収集を継続します。		-		C	B	B	B	◇	
ア②		ニーズに沿った選定の方法を検討します。		進行中		D	C	B	B		
ア③		電子書籍での多言語資料の提供について、検討します。		達成済		B	D	B	B		電子書籍サービスの導入と同時に多言語資料の提供を開始した。(2021) 後期は、「検討」を「継続」に読み替えて実施する。
イ	多文化理解に役立つ資料の収集、提供	今後も収集を継続します。		-		C	B	B	B		
ウ①	日本語学習、検定資料の収集、提供	今後も収集を継続します。		-		C	B	B	B		
ウ②		選定方法を見直し、購入手法を検討します。		進行中	△	D	C	B	C		
エ①	利用しやすい環境の整備	英語以外の言語の利用案内を作成し、配布します。		達成済	↑	C	E	A	B		中国語(2023)、韓国語(2024)の利用案内を作成した。
エ②		やさしい日本語の利用案内の作成を検討します。		達成済	↑	C	B	B	B		やさしい日本語に配慮した利用案内を作成した。(2024)
エ③		館内の案内を見直します。		進行中		-	-	-	B		
オ	関係機関との連携	関係機関を案内する体制と資料を揃えます。	市民協働課 文化国際課 公民館、国際交流団体	進行中		-	-	-	B	◇	
カ	学校との連携	日本語を母語としない子どもと、周囲の大人を支援するための資料収集を行います。 多言語資料の提供について検討します。	教育指導課 小中義務教育学校	進行中		-	-	-	B	◇	



やさしい日本語や外国語による利用案内

総評	B	<p>【自己評価と後期の方向性】 地域性を意識した多言語資料の収集や、多言語版利用案内の作成等、図書館を利用しやすい環境にするための整備を行った。 後期は、資料の収集を継続して行うとともに、関係機関との連携や多言語資料の提供方法等のサービスの運用について検討を行う。</p>
----	---	---

3. 市民の課題を解決するサービス- (1) 健康・医療情報-

	実施・検討する事項	取組内容	関係機関等	進捗状況	前期評価	年度ごとの自己評価結果				後期重点	備考
						2021	2022	2023	2024		
ア	蔵書の構築	医療の進歩に留意し、信頼性の高い資料を収集します。		-		B	B	B	B		
イ①	利用者がアクセスしやすい書架の整備	サービスガイドラインを策定し、コーナーの設置を検討します。		達成済	↑	-	B	-	-		「がん情報コーナー」・「医療情報コーナー」を設置した。(2022)
イ②		関係機関等の情報をコーナーに排架し、提供します。		-	↑	-	A	B	B		近隣病院等関係機関の広報誌、市の支援情報やイベントのチラシ等をコーナーに排架した。
イ③		信頼性の高い資料を、入門から専門的な情報へと深めるように排架し、情報を求めている層に最適化した書架構成を検討します。		-	↑	-	A	B	B	◇	
イ④		關病記の排架方法や検索システム等、整備方針を定めて計画的に実施します。		進行中		D	B	B	B	◇	
ウ	講座、セミナーの開催	関係機関と連携し、健康・医療情報を扱う講座等を計画し、実施します。	市内病院 医療系大学 健康増進課	-		B	B	B	-		
エ	出張図書館の実施	市内病院や医療系大学等と連携し、関係機関が開催する市民向けの講座への出張図書館を検討します。	市内病院 医療系大学 健康増進課	未実施		-	-	-	-	◇	



本館 がん情報コーナー



本館 医療情報コーナー

総評	A	<p>【自己評価と後期の方向性】</p> <p>がん情報・医療情報コーナーを設置し、サービスガイドラインを策定して利用者へ情報提供を行った。</p> <p>後期は、さらにサービスを充実させるため、コーナーの整備や資料提供方法の改善に取り組む。</p>
----	---	---

3. 市民の課題を解決するサービス- (2) ビジネス支援-

	実施・検討する事項	取組内容	関係機関等	進捗状況	前期評価	年度ごとの自己評価結果				後期重点	備考
						2021	2022	2023	2024		
ア	蔵書の構築	ビジネスに役立つ多様な分野の資料を入門書から専門書まで広く収集します。		-		B	B	B	B		
イ	データベースの整備	起業や農業活動等に有用なデータベースの導入を検討します。		進行中		B	B	C	B		
ウ①	利用促進	事例調査及び研究を行います。		進行中		-	B	B	B		
ウ②		ビジネス支援のための図書館活用法パンフレット作成を計画し、実施します。		進行中		-	B	-	-		
エ	利用者がアクセスしやすい書架の整備	それぞれの専門的分野の資料を集中して排架する方法を計画し、実施します。		進行中		B	B	C	B	◇	支援方法を再検討する。
オ	講座、セミナーの開催	働く世代を支援する講座等を計画し、実施します。	ハローワーク 商工団体	-		B	-	-	C		
カ①	相談会の実施	事例調査及び研究を行います。	商工団体	進行中		B	B	-	B		
カ②		中小企業診断士等と協働し、起業相談会の開催を検討します。		進行中		B	B	B	B	◇	
キ	出張図書館の実施	商工団体のイベントや成田市産業まつり等に出張図書館を行い、ビジネス支援を広報するとともに、司書のレファレンスを含めたサービスの利用促進を図ります。	商工課 農政課 商工団体 農業協同組合	進行中		-	-	B	-		



図書館講座

「job tag (就職情報提供サイト) で仕事探索-未来の自分をみつけよう-

総 評	B	<p>【自己評価と後期の方向性】</p> <p>ビジネス支援関連の研修会への参加や視察を積極的に実施し、調査研究と併せて関係機関や講師とのコネクションを構築した。ビジネスコーナーの設置については検討したが、課題が多く具体的な実施には至らなかった。</p> <p>後期は、ビジネスコーナーの設置について再検討するとともに、前期に引き続き関係機関との連携を図り、講座や相談会を実施する。</p>
--------	---	---

3. 市民の課題を解決するサービス- (3) 法情報-

	実施・検討する事項	取組内容	関係機関等	進捗状況	前期評価	年度ごとの自己評価結果				後期重点	備考
						2021	2022	2023	2024		
ア	蔵書の構築	法情報に関する図書・雑誌資料のほか関係機関誌やパンフレット等、幅広い資料の収集に努めます。		-		B	C	B	B		
イ	データベースの整備	法情報調査に有用なデータベースを調査し、導入を検討します。		進行中		B	B	B	B		
ウ①	利用者がアクセスしやすい書架の整備	事例調査及び研究を行い、法情報コーナーの新設を検討します。		未実施		-	-	-	-	◇	支援方法を再検討する。
ウ②		パスファインダーを作成し、配布します。		進行中		-	-	C	B		
エ①	講座、セミナーの開催	ニーズ調査を実施します。	法テラス消費生活センター	進行中		B	B	-	-		
エ②		データベースの使い方講座や、関連専門機関のセミナー等の図書館での開催を検討します。	市民向け相談窓口	進行中		B	B	B	-		
オ①	関係機関へ、図書館の資料案内等の配布	市民向け相談窓口を設置している機関へニーズ調査を実施します。	法テラス消費生活センター	進行中		B	B	-	-		
オ②		出張図書館や相談員と協働した推薦図書リストの作成等、法情報や判例資料の活用・提供について検討します。	市民向け相談窓口	未実施		-	-	-	-		



図書館講座 「法律を味方に！トラブル予防・対策のポイント」

総評 B	<p>【自己評価と後期の方向性】 新規データベースを導入し、データベースの充実を図った。また、法情報関連の研修会へ意欲的に参加し、講師や関係機関とのコネクションを構築し、コネクションを活かした講座を開催した。 後期は、未実施項目の検討を行うとともに、法情報の提供方法を再検討する。関係機関とのコネクションを活かし、講座等を実施していく。</p>
--	--

4. 地域資料を活用するサービス- (1) 地域資料-

	実施・検討する事項	取組内容	関係機関等	進捗状況	前期評価	年度ごとの自己評価結果				後期重点	備考
						2021	2022	2023	2024		
ア①	地域資料の収集、提供	今後も、成田市を中心に、関連性の深い周辺地域を含めた歴史、地誌、民俗、芸術、文化及び産業等を記録した資料の収集を継続します。	生涯学習課 博物館・資料館等	-		C	B	B	B		
ア②		今後も、空港関係資料の収集を継続します。		-		C	B	B	B		
ア③		行政資料の収集を継続します。		-		B	B	B	B		
イ①	地域資料のデジタル化	成田市関係新聞記事をデータベース化し、公開します。		-	↑	A	B	B	B		新聞記事のデータ入力について、年間目標件数を上回り、公開予定時期を短縮することができた。(2021)
イ②		地域資料のデジタル化を進めます。		-		D	B	B	C		
イ③		デジタル化した資料は、ホームページ上で公開を継続し、内容の充実を図ります。		-	△	D	C	C	D	◇	
ウ	イベント、講座の開催	地域への理解、関心を深めることを目的とし、講座の実施を継続します。		-		B	B	B	B		
エ	展示の実施	収集した資料の活用、普及、提供のため、展示の実施を継続します。		-		C	D	B	B		
オ	関係機関との連携	各方面に働きかけを行い、どのような連携を図ることができるか検討します。	生涯学習課 博物館・資料館等 成田山仏教図書館	未実施		-	-	-	-		
カ	市史の編さん、頒布	今後も成田市史研究の発行を継続します。今後の方向性を検討します。		-		B	B	B	B		



本館2階展示 「成田と代々の團十郎」

総評	B	【自己評価と後期の方向性】 地域資料の収集・提供については継続して実施した。デジタル化については課題が多く見つかった。 後期は、地域資料の活用のため、デジタル化した資料のホームページ公開に向けて課題点を整理し、実施する。
----	---	--

5. 地方自治を支えるサービス- (1) 行政支援-

実施・検討する事項	取組内容	関係機関等	進捗状況	前期評価	年度ごとの自己評価結果				後期重点	備考
					2021	2022	2023	2024		
ア①	市職員への利用案内	新規採用職員研修において、行政課題解決のための図書館活用法を案内します。	人事課	-	↑	B	B	B	B	新規職員研修において図書館活用法について講義を開始した。(2022)
ア②	業務に役立つ資料の紹介、研修に関連する資料の展示等を計画し、実施します。			進行中	-	B	D	B		
イ①	行政向けレファレンスサービス	事例調査及び研究を行います。		進行中	△	-	D	D	B	
イ②		有料データベース等ツールの広報やレファレンス事例の紹介を通じて利用の促進を図ります。		-		-	B	B	D	
ウ	行政支援としての図書館資料の貸出	市職員への図書館資料の貸出システムについて検討します。	行政資料室 行政管理課	進行中	△	-	E	E	C	



新規採用職員研修の様子

総評	B	<p>【自己評価と後期の方向性】</p> <p>計画の早期段階で関係機関と連携し、新規採用職員研修において図書館活用法の講義を実施し、継続的に運用している。</p> <p>後期は、市職員全体を対象とした利用促進やニーズの検討を行い、組織的な図書館サービスの活用へつなげていく。</p>
----	---	--

5. 地方自治を支えるサービス- (2) 学校図書館支援-

※「2. 利用者層ごとのサービス(2)小学生・中学生」及び「(7)多文化」の再掲のため、省略。

5. 地方自治を支えるサービス- (3) 議会図書室との連携-

	実施・検討する事項	取組内容	関係機関等	進捗状況	前期評価	年度ごとの自己評価結果				後期重点	備考
						2021	2022	2023	2024		
ア①	議員へのレファレンスサービスの実施	レファレンスサービスを周知し、議員のレファレンスサービスの活用を促進します。	議会事務局	-	↑	B	B	E	B	◇	議員へのレファレンスサービスを開始した。(2021)
ア②		議会図書室と連携し、議員への図書館資料の貸出について検討します。		進行中	△	B	E	E	D		
イ①	資料の整理・保存等の支援	議会図書室が所蔵する資料の整理を支援します。	議会事務局	進行中		D	B	B	B		
イ②		議会図書室と連携し、成田市議会の過去の議事録等の保存等を支援します。		進行中		B	B	B	B		
			総評	B		【自己評価と後期の方向性】 関係機関と協議のうえ、議員へのレファレンスサービスを実施した。後期は、サービスの浸透を図るため、引き続きサービスの周知を行う。議会図書室資料等の整理・保存の支援についても、継続して協議を行う。					

5. 地方自治を支えるサービス- (4) 行政資料室との連携-

	実施・検討する事項	取組内容	関係機関等	進捗状況	前期評価	年度ごとの自己評価結果				後期重点	備考
						2021	2022	2023	2024		
ア	連携方法についての研究	事例の調査研究を行います。	行政資料室	進行中	△	B	D	D	C		
※「5. 地方自治を支えるサービス (1) 行政支援」の再掲のため、項目イは省略。			総評	C		【自己評価と後期の方向性】 市職員向けの図書館資料の貸出について、行政資料室担当者に説明を行った。後期は、サービスの必要性と具体的内容を調査・研究し、継続して検討を進める。					

6. 図書館サービスを支える電算システム

	実施・検討する事項	取組内容	関係機関等	進捗状況	前期評価	年度ごとの自己評価結果				後期重点	備考
						2021	2022	2023	2024		
ア①	図書館電算システム、ホームページの維持管理・運用	システムの機能向上について検討します。		達成済		B	E	B	B		
ア②		ホームページの利便性向上を図り、マルチデバイス化を実施します。		進行中		B	B	B	B	◇	
イ①	新たな技術の導入	電子書籍サービスを導入します。		達成済	↑	B	-	E	-		電子書籍サービスを開始した。(2021) 以降は、1-ア①において継続して実施する。
イ②		本館、公津の杜分館への公衆無線LANを設置します。		進行中		B	E	E	B	◇	
ウ①	業務の効率化	機器の導入等により、業務の効率化を図ります。		達成済		B	E	B	B		ポータブルプリンタ2台を導入した。(2024)
ウ②		本館への自動返却仕分け機の導入を検討します。		達成済		B	E	B	B		本館に自動返却仕分け機2台を導入した。(2024)
			総評	B	<p>【自己評価と後期の方向性】 非来館型サービスとして電子書籍サービスを導入し、休館中でもサービスの提供が可能となった。また、GIGAスクール構想の取組の一環として市内小中学校及び義務教育学校で電子書籍の提供を開始した。電算システムの更新やホームページにおいて、自動返却仕分け機の導入やホームページのマルチデバイス対応について計画的に実施した。 後期は、第9次図書館システムの構築に向けた準備及び公衆無線LANの設置等、新たな技術の導入について継続して検討を進める。</p>						

7. 職員の育成

	実施・検討する事項	取組内容	関係機関等	進捗状況	前期評価	年度ごとの自己評価結果				後期重点	備考
						2021	2022	2023	2024		
ア①	継続的な司書の確保と計画的な措置	継続的に司書の確保に努めます。		-		B	B	B	B		
ア②		司書の研修マニュアルを作成します。		-	△	-	B	D	D	◇	
ア③		専門分野の習熟に必要な配置期間を確保します。		-		-	B	D	B	◇	
イ	職員の資質・能力の向上	長期的な研修計画を立てて、計画的な職員育成を図ります。		-		B	B	B	B	◇	
			総評	B	<p>【自己評価と後期の方向性】 司書のスキルアップに係る研修等に参加した。 後期は、職員の資質向上に向けた課題整理を行い、スキルアップに必要な取組を計画的に進める。</p>						

8. 施設・設備等

	実施・検討する事項	取組内容	関係機関等	進捗状況	前期評価	年度ごとの自己評価結果				後期重点	備考
						2021	2022	2023	2024		
ア①	施設の管理・運営	施設の計画的な修繕等の維持管理と、バリアフリーへの対応等、利用しやすい施設への改善に努めます。		-		B	B	B	B	◇	
ア②		施設の管理・運営に関わるマニュアルを作成します。		進行中		-	B	-	B	◇	
イ①	居場所としての機能向上	滞在できる空間づくりを検討します。		進行中		-	-	-	B		
イ②		グループ学習や図書館資料を利用したミーティングができる環境づくりを検討します。		進行中		-	-	-	B		
ウ	本館の閲覧席増加	閲覧席の増加について検討します。		その他		-	-	-	B		
エ	本館の所蔵可能点数増加	公開書架、書庫等の所蔵可能点数増加について検討します。		進行中		-	-	B	B		
オ	危機管理能力の向上	図書館の危機管理マニュアルを作成し、体制を整備します。		進行中		B	B	-	-		
カ	全域サービス網整備	全域サービス網の整備を計画的に進めます。		未実施		-	-	-	-		
			総評	B	<p>【自己評価と後期の方向性】 危機管理マニュアルを作成し、見直し等を適宜行った。施設修繕については、小規模の修繕だけでなく、今後は大がかりな修繕も検討する。施設全体に係るウ、エ、カについては、課題の整理が必要となる。特にカの項目は、赤坂センター地区複合施設の動向を注視する必要がある。</p>						

第5章 今後の方向性と後期事業計画について

1. サービス計画全体の方向性と指標の見直しについて

社会の変化に応じた図書館の役割と、本サービス計画が目指す図書館の姿は方向性を同じくしています。そのため、後期においてもこの方向性を維持し、法令の改正等社会の動向を注視しながら取組を推進していきます。

指標については、計画開始後の数年間にコロナ禍の影響を受け、来館を促す取組やアウトリーチサービスを積極的に行うことが困難でした。そのため、目標に対して望ましい数値が出ているとは言えない状況です。

そのような中でも新規事業の立ち上げや社会の変化に応じたサービスを積極的に行ったことで、サービスの向上については一定の効果が認められました。計画後期においても、各取組の成果が表れてくると考えられるため、当初の目標値は変更せず、引き続き各取組を推進し、サービスの向上に努めていきます。

2. 進行状況の管理

サービス計画を推進するために、前期と同様に年度ごとに達成目標を定め、計画的に事業を実施します。目標の達成状況や計画の進捗状況について、内部評価及び図書館協議会による第三者評価を行い、結果を次年度の事業活動に反映させます。

計画の最終年度に当たる2030（令和12）年度には計画の達成状況を評価し、次期計画策定をするものとします。



成田市立図書館サービス計画 中間評価

発行 成田市
編集 成田市立図書館
〒286-0017 成田市赤坂 1-1-3
TEL. 0476-27-4646
発行日 令和8年3月
登録番号 成教図 -